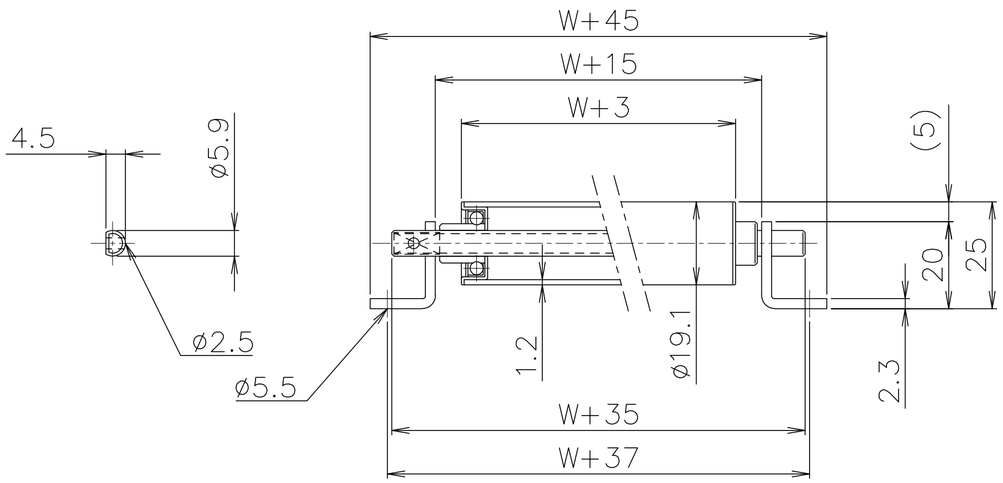
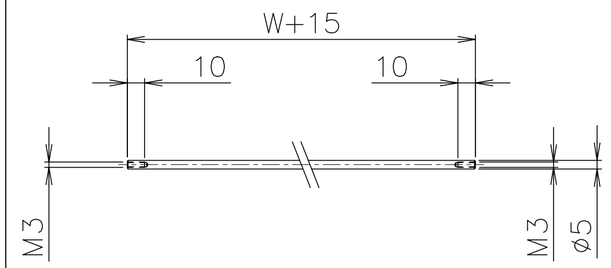
許容差についてはJIS B0405(1991)の公差等級（粗級）に準ずる。



拡大図(S=1:1)



丸棒支手
(S=1:2.5)

品番	品　名	材　質	一台分個数	製作個数	備　考
101	ローラ	STKM	1式		R−1912P　W(めっき付)
102	パイプ軸	STKM	1式		呼びø6 (ø5.9x0.7,W+35)
103	フレーム	SS400	1式		L20x15x2.3
104	丸棒支手	SS400	1式		ø5 (W+15)
105	連結金具	SS400	1式		オプション品

仕様

標準機長　L	1000,1500
ローラ幅　W	100~500 フリーサイズ
ローラ間隔　P	20,25,30

＊　輪止めは針金止めになります。

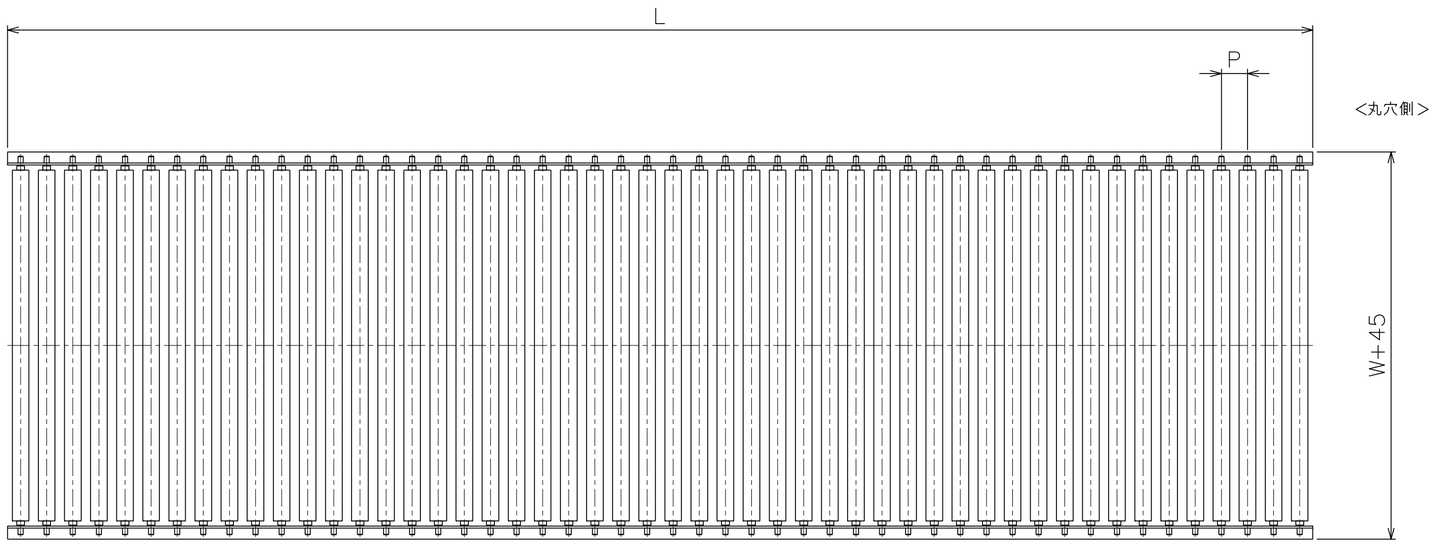
⚠1ローラ間隔(P)

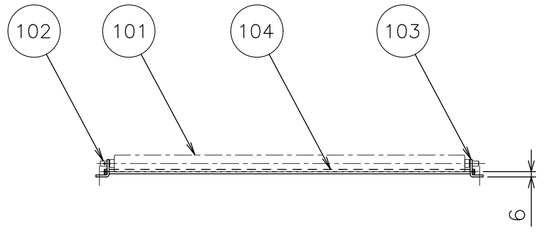
機長　L	呼称ピッチ	実ピッチ
1000	30	30.3

＊　上記の機長とピッチの組合せの場合
実ピッチが変わります。

支手

形状	コンベヤ機長　L	支手本数
ø5丸棒	~300　未満	2本
	300~1000　未満	3本
	1000~1500　未満	4本
	1500	5本





改訂番号	年　月　日	改　訂　事　由	担　当
4			
3			
2			
⚠1	'22/12/26	連結金具の取付方向性修正,実ピッチ追加	三宅

尺　度	1:5	
日　付	2010/09/01	
承　認	検　図	製　図
田嶋	相馬	藤田

客先　殿

名称　スチール製ローラコンベヤ　R−1912PA

株式会社 マキテック

図番　R−1912PA−01−00−000 ⚠1

原紙サイズ　A2